

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		火山砂防事業		路河川名等		(砂)双子池沢(ふたごいけさわ)			
事業毎の通番		1		市町村名		小海町			
事業目的		双子池沢は、一級河川千曲川へ流れ込む土石流危険渓流であり、斜面の荒廃により大雨時における土砂流出が懸念されている。このことから、土砂災害防止のための砂防堰堤を施工することにより、下流域の人家35戸、地域防災計画における緊急輸送路である国道141号、地域の重要な交通機関であるJR小海線などの保全を図る。							
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け		4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等		砂防法			
関連する事業、計画等		なし							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家35戸、国道141号(県の地域防災計画における緊急輸送路)、JR小海線、町道							
着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	10.3		国庫	その他	県債 一般財源		
全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基			300,000	165,000	0	121,500 13,500		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家35戸、国道、町道、鉄道の保全が図られる							
	間接的効果(定量的・定性的)	県の緊急輸送路である国道を保全することで、災害時の輸送が確保される(地域間交流の促進) 土砂災害特別警戒区域の指定が解除される。							
評価の視点	必要性	【人家戸数】:10戸以上(35戸) 【公共施設数】:2箇所以上(国道、町道、JR) 【要配慮者利用施設の有無】:無し 【避難場所、避難路の有無】:有り(町の避難路)					評価	A	
	重要性	【過去の災害履歴】:災害履歴地隣接渓流で土石流が発生した(平成16年) 【交通遮断による地域経済への影響】:影響大 国道141号、JR小海線は地域の重要な公共交通 【地域防災計画上の位置づけ】:位置づけあり(県及び町の緊急輸送路)					評価	A	
	効率性	【費用便益比(B/C)】:B/C 1.5以上(10.3) 【事業期間】:5年 【工法等の比較検討】:検討なし 【流域の総合調整】:調整中(林務部局と調整中)					評価	B	
	緊急性	【流域の地形、地質】:地質が脆弱(火山噴出物) 【流域の植生】:無林地や倒木が多数(倒木が多数) 【平均河床勾配】:10°以上(11°(1/4.8)) 【土砂整備率】:0%(既設堰堤なし) 【土砂災害防止法】:特別警戒区域あり					評価	A	
	計画熟度	【事業情報の共有】:関係者を中心に周知(土砂法指定の説明会実施) 【地域の取り組み】:協力的である(町から要望あり) 【地域の合意形成】:事業目的について合意形成がなされている(ハード対策の要望あり) 【住民との協働】:防災体制整備の予定あり					評価	B	
	所管課意見	当該渓流の保全対象には地域防災計画に位置づけられている緊急輸送路が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。			採択状況	○			総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。								

位置図

平面図

全景

安全対象人家(35戸)

荒廃状況写真

今回計画砂防堰堤 L=80.0m H=6.0m

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成19年に土砂災害防止法の警戒区域、特別警戒区域に指定され、土砂災害のおそれがあることが周知され、ハード対策の要望が強く出された。隣接する渓流において土石流災害が発生し、砂防施設の整備が済んでいるが、渓流形状の似ている当該渓流においても、緊急輸送路におけるハード対策が急務であることから、事業を計画することとなった。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	土砂災害警戒区域内に、緊急輸送路、鉄道が存在することから、小海町から要望されている。
③事業説明等の経緯	事業実施が確定次第、地元説明会の開催を予定している。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事に伴う地形改変を極力少なくするよう計画する。
⑥地域活性化への影響と配慮	砂防事業により、地域住民の安全・安心を確保するとともに、災害のない地域づくりを推進し、地域の活性化を図る。
⑦その他	なし

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 04' 30" 71 東経:E 138° 28' 19" 02
-------------	---

事業概要説明図表

事業周辺環境